



学校における金融経済教育

2025年3月9日(日)
11:20-12:20

J-FLEC認定アドバイザー
倉橋 孝博



- J-FLEC（ジェイフレック）は金融経済教育を推進するため、法律に基づいて設立された『**金融庁所管の認可法人**』です。
- 中立・公正な立場から、幅広い年齢層に向けて、一人ひとりのニーズに応えた金融経済教育の機会を官民一体で届けています。

J-FLECについて

- 正式名称：金融経済教育推進機構

（英）J-FLEC: **J**apan **F**inancial **L**iteracy and **E**ducation **C**orporation

- 根拠法：金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律
（2024年2月1日施行）

- 出資団体：政府、日本銀行、全国銀行協会、日本証券業協会



- ① 金融経済教育はなぜ必要か
- ② 何を学ぶか
- ③ どのように学ぶか
- ④ (ご参考) J-FLEC提供教材

※会場後方に現物も展示



1

金融経済教育はなぜ必要か

○日々の生活で、お金に関する疑問や悩みを抱えていませんか？
『適切な判断を行うには何が必要』でしょうか。



毎月の生活費でギリギリ。
お金の管理はどうすればいい？

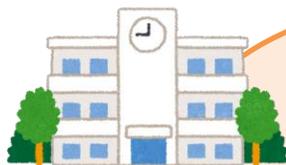
将来のために
資産形成も考えた方が
いいのかな。



ローン・クレジットの
返済がなかなか終わらない。
どうしてだろう？



S N Sに出た
「絶対にもうかる」話って
詐欺じゃないの？



こどもの**教育資金**は
どうやって準備したらいい？

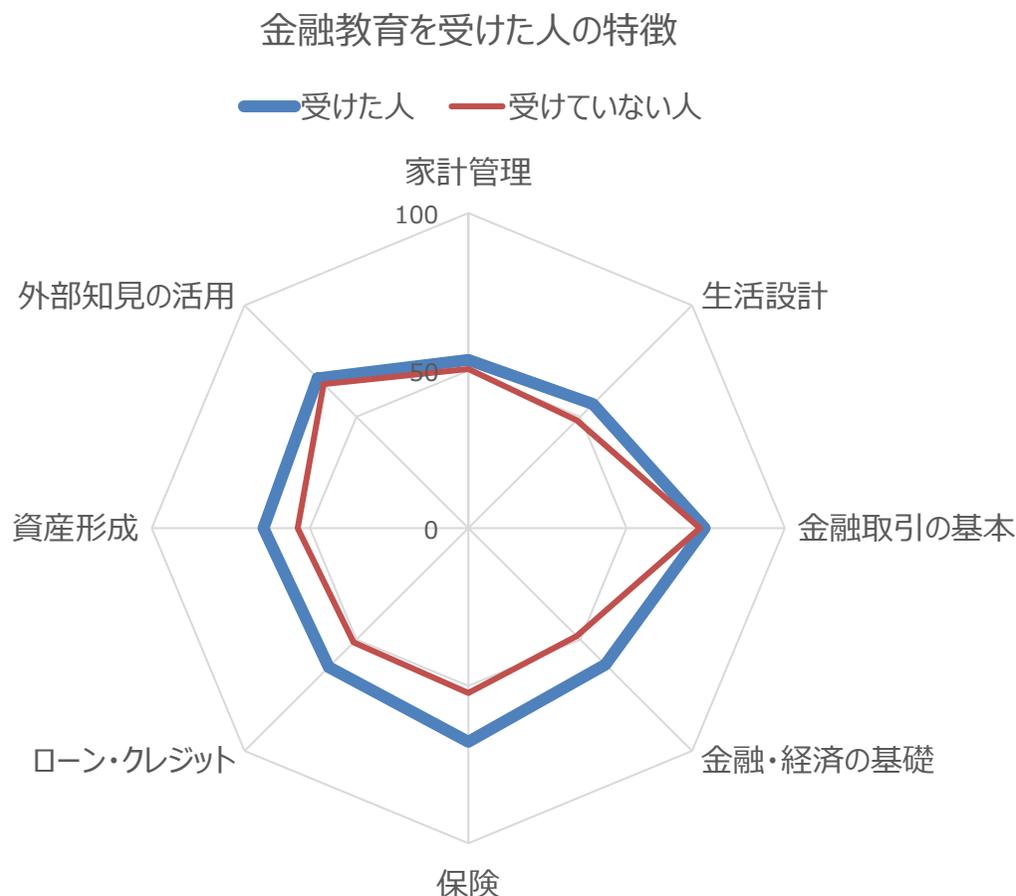
- 金融リテラシーとは、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な『**お金に関する知識や判断力**』のことです。
- 金融リテラシーを育むことは安心した生活に繋がります。

金融リテラシーが高い人の特徴

- 家計管理がしっかりしている。
- 計画を立ててお金を準備しているので、やりたいことを実現しやすい。
- 緊急時の備えがあるので、危機（自身の病気やケガ、不景気による収入減など）に強い。
- 詐欺や多重債務などの金融トラブルにあうことが少ない。
- **経済的に自立し、より良い暮らしを送ることができる。**



- 金融経済教育を受けた人ほど、金融リテラシーは高くなるというデータがあります。



出所：金融広報中央委員会「金融リテラシー調査2022年」

社会・環境の変化

➤ 成年年齢の引き下げ

⇒若いうちから、自らの判断と責任において自分の人生をより良いものへと切り拓いていくための力が一層求められている。

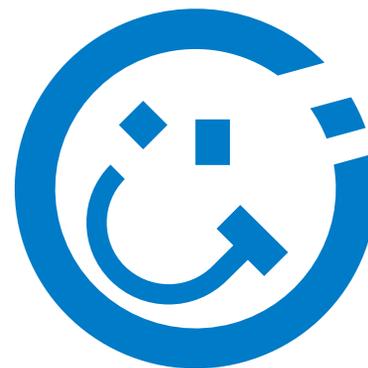
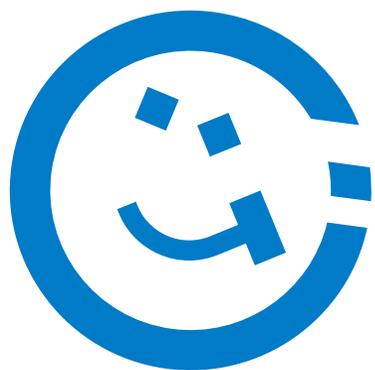
➤ 産業構造や社会システムの急激な変化に伴う社会における不確実性の高まり

⇒情報を主体的に判断・活用しながら、他者と協働して新たな価値を創造する資質・能力や、より良い社会の実現に主体的に参画しようとする資質・能力がより求められている。

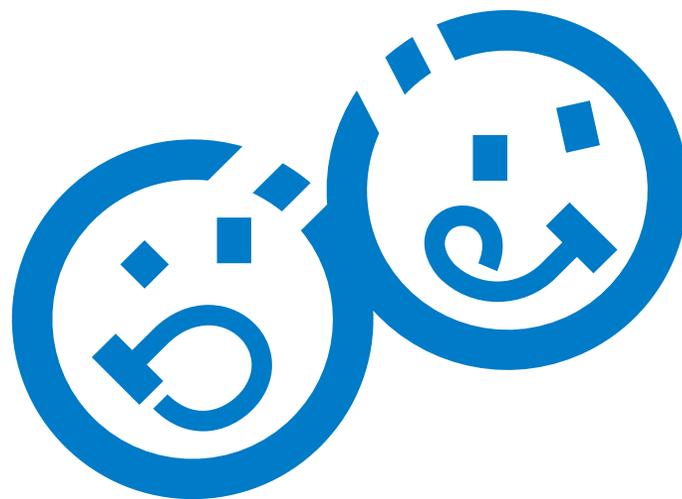
金融との関わり方の変化

- 日々の生活資金はもとより、自身の夢や希望を実現させるための資金や、長期化する老後の生活資金を準備していくために、金融商品を選択・活用していくスキルや、長期的に貯蓄・運用に取り組む態度を身に付けることがますます重要
- 進学を希望する多くの生徒にとって奨学金の借入は身近になっているが、その返済がその後のライフイベント(例えば「結婚」、「出産」、「子育て」など)に深刻な影響を及ぼしている
- 電子マネー等のキャッシュレスの進展やフィンテックなど金融サービスが多様化する中、投資詐欺をはじめとする様々な金融を巡るトラブルから身を守ることの必要性の高まり
- 新たな価値を創造する起業・企業などを、個人の金融資産を活用して資金面から支えていくことが不可欠

⇒今後の在るべき社会や自分自身の将来を見据え、金融に主体的に関わり意思決定していくための資質・能力が一層求められている。



2 何を学ぶか



(1)小学校

- 金融経済教育は家庭科(高学年)から本格的にスタート
- 低学年や中学年であっても、総合的な学習の時間、道徳、特別活動で扱うことが可能

社会

〔第5学年〕

- (2) 我が国の農業や水産業における食料生産について、学習の問題を追究解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- (3) 我が国の工業生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

【主なキーワード】 価格、費用、生産、国民生活の向上

〔第6学年〕

- (1) 我が国の政治の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

【主なキーワード】 租税

家庭

「C 消費生活・環境」

- (1) 物や金銭の使い方と買物
- (2) 環境に配慮した生活

【主なキーワード】 消費者、金銭の大切さと計画的な使い方、売買契約、プリペイドカード、貯蓄

道徳 内容

A 主として自分自身に関すること [節度, 節制]

〔第1学年及び第2学年〕

健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする事。

〔第3学年及び第4学年〕

自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする事。

〔第5学年及び第6学年〕

安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける事。

C 主として集団や社会との関わりに関する事 [規則の尊重]、[勤労, 公共の精神]

〔第1学年及び第2学年〕

約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。

働くことよさを知り、みんなのために働くこと。

〔第3学年及び第4学年〕

約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る事。

働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。

〔第5学年及び第6学年〕

法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たす事。

働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。

【主なキーワード】 金銭の価値, 一般的な約束や社会のきまり, 働くことの意義

総合的な学習の時間

1 目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

2 内容

各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。

【主なキーワード】 目標及び内容については、日常生活や社会との関わりを重視

特別活動

〔学級活動〕

- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
 - ア 基本的な生活習慣の形成
- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現
 - ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成
 - イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

【主なキーワード】 社会の形成者として身に付けるベキルール、将来に向けた自己実現、社会への参画

(2)中学校

○ 金融経済教育は、主に社会(公民的分野)及び技術・家庭(家庭分野)において実施

社会(公民的分野)

B 私たちと経済

(1) 市場の働きと経済

(2) 国民の生活と政府の役割

【主なキーワード】

財やサービス、金融などの仕組みや働き、貯蓄、株式、債券、民間の保険、勤労、財政、租税

技術・家庭(家庭分野)

C 消費生活・環境

(1) 金銭の管理と購入

(3) 消費生活・環境についての課題と実践 など

【主なキーワード】

計画的な金銭管理、多様化する購入方法や支払い方法、売買契約、消費者被害

(3)高等学校

○ 金融経済教育は、主に公共及び家庭基礎において実施

公共

B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち

C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち

【主なキーワード】

契約、職業選択、財政・租税、社会保障の充実・安定化、金融の働き

家庭基礎

C 持続可能な消費生活・環境

(1)生活における経済の計画

(2)消費行動と意思決定

(3)持続可能なライフスタイルと環境

【主なキーワード】

家計管理、生涯を見通した経済計画、金融商品の特徴、資産形成、消費者被害

- 金融庁では、2012年11月に有識者・関係省庁・関係団体をメンバーとする「金融経済教育研究会」を設置して、今後の金融経済教育の在り方について検討を行い、2013年4月に報告書を公表。同報告書において、「生活スキルとして最低限身に付けるべき金融リテラシー」が示された
- 「最低限身に付けるべき金融リテラシー」の内容は、「家計管理」、「生活設計」、「金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択」および「外部の知見の適切な活用」の4分野に分かれており、「金融リテラシー・マップ」は、その内容を、年齢層別に、体系的かつ具体的に記したもの
- 国民一人ひとりが、生活スキルとして最低限身に付けるべき金融リテラシーを体系的かつ具体的にマッピングした「金融リテラシー・マップ」には、学習指導要領・同解説に示された教科等の内容に加え、各教科における発展的な学習や、総合的な学習の時間および特別活動において実践されてきたものも含んでいる



分野	分類	小学生 ^(※2)	中学生	高校生
		社会の中で生きていく力の素地を形成する時期	将来の自立に向けた基本的な力を養う時期	社会人として自立するための基礎的な能力を養う時期
家計管理	家計管理	必要なもの(ニーズ)と欲しいもの(ウォンツ)を区別し、計画を立てて買物ができる	家計の収入・支出について理解を深め、学校活動等を通じて収支管理を実践する	自分のために支払われている費用を知り、家計全体を意識しながらよりよい選択・意思決定ができる
生活設計	生活設計	働くことを通してお金を得ることおよび将来を考え金銭を計画的に使うことの大切さを理解し、貯蓄する態度を身に付ける	勤労に関する理解を深めるとともに、生活設計の必要性を理解し、自分の価値観に基づいて生活設計を立ててみる	職業選択と生活設計を関連付けて考え、生涯の収支内容を理解して生活設計を立てる
金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択	金融取引の基本としての素養	小学生が巻き込まれる金融トラブルの実態について知り、消費生活に関する情報を活用して比較・選択する力を身に付ける	契約の基本を理解し、悪質商法等を見分け、被害に遭わないようにする	契約および契約に伴う責任に関する理解を深めるとともに、自ら情報を収集し消費生活に活用できる技能を身に付ける
	金融分野共通	暮らしを通じてお金の様々な働きを理解する	お金や金融・経済の基本的な役割を理解する	お金や金融・経済の機能・役割を把握するとともに、預金、株式、債券、投資信託、保険など基本的な金融商品の内容を理解する

分野	分類	小学生	中学生	高校生
金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択	保険商品	事故や疾病等が生活に大きな影響を与えることを理解し、自らも安全に行動する不測の事態に備える方法として貯蓄以外に保険があることを理解する	リスクを予測して行動するとともに、人を負傷させたり、人の物を壊した場合には弁償しなければならないことを理解する 事故や病気のリスクや負担を軽減させる手段のひとつに保険があることを理解する	リスクを予測・制御して行動するとともに、加害事故を起こした場合には責任や補償問題が生じることを理解する 社会保険と民間保険の補完関係を理解する
	ローン・クレジット	子ども同士でお金の貸し借りはしないようにする	ローン等の仕組みや留意点について理解する	貸与型の奨学金などローンの仕組みを理解し、返済方法や金利、延滞時の影響について考える 各種カードの機能や使用上の留意点を理解し、適切に行動する態度を身に付ける
	資産形成商品	金利計算(単利)などを通じて、主な預金商品とその利息の違いについて理解する	リスクとリターンの関係について理解する 金利計算(複利)を理解し、継続して貯蓄・運用に取り組む態度を身に付ける	基本的な金融商品の特徴とリスク・リターンの関係について理解し、自己責任で金融商品を選択する必要があることを理解する リスク管理の方法や定期的な貯蓄・運用し続けることの大切さを理解する
外部の知見の適切な活用	外部の知見の適切な活用	困ったときにはすぐに身近な人に相談する態度を身に付ける	トラブルに遭ったときの相談窓口、必要に応じて連絡する方法を身に付ける	トラブルに対処できる具体的方法を学び、実際に行使できる技能を身に付ける

	幼児期	小学生期	中学生期	高校生期
各期の特徴	様々な気づきの体験を通じて、家族や身の回りの物事に關心をもち、それを取り入れる時期	主体的な行動、社会や環境への興味を通して、消費者としての素地の形成が望まれる時期	行動の範囲が広がり、権利と責任を理解し、トラブル解決方法の理解が望まれる時期	生涯を見通した生活の管理や計画の重要性、社会的責任を理解し、主体的な判断が望まれる時期
重点領域				
消費者市民社会の構築	消費がもつ影響力の理解	消費をめぐる物と金銭の流れを考えよう	消費者の行動が環境や経済に与える影響を考えよう	生産・流通・消費・廃棄が環境、経済や社会に与える影響を考えよう
	持続可能な消費の実践	身の回りのものを大切にしよう	自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、物の使い方などを工夫しよう	持続可能な社会を目指して、ライフスタイルを考えよう
	消費者の参画・協働	協力することの大切さを知ろう	身近な消費者問題に目を向けよう	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成に協働して取り組むことの重要性を理解しよう
商品等の安全	商品安全の理解と危険を回避する能力	くらしの中の危険や、ものの安全な使い方を知ろう	危険を回避し、物を安全に使う手がかりを知ろう	安全で危険の少ないくらしと消費社会を目指すことの大切さを理解しよう
	トラブル対応能力	困ったことがあったら身近な人に伝えよう	困ったことがあったら身近な人に相談しよう	販売方法の特徴を知り、トラブル解決の法律や制度、相談機関を知ろう
生活の管理と契約	選択し、契約することへの理解と考える態度	約束やきまりを守ろう	物の選び方、買い方を考え適切に購入しよう 約束やきまりの大切さを知り、考えよう	商品を適切に選択するとともに、契約とそのルールを知り、よりよい契約の仕方を考えよう
	生活を設計・管理する能力	欲しいものがあつたときは、よく考え、時には我慢することをおぼえよう	物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えよう お小遣いを考えて使おう	消費に関する生活管理の技能を活用しよう 買い物や貯金を計画的にしよう
情報とメディア	情報の収集・処理・発信能力	身の回りのさまざまな情報に気づこう	消費に関する情報の集め方や活用の仕方を知ろう	消費生活に関する情報の収集と発信の技能を身に付けよう
	情報社会のルールや情報モラルの理解	自分や家族を大切にしよう	自分や知人の個人情報を守るなど、情報モラルを知ろう	著作権や発信した情報への責任を知ろう
	消費生活情報に対する批判的思考力	身の回りの情報から「なぜ」「どうして」を考えよう	消費生活情報の目的や特徴、選択の大切さを知ろう	消費生活情報の評価、選択の方法について学び、意思決定の大切さを知ろう

➤ 消費者教育では、「収入と支出」、「契約」、「ローン・クレジット」、「消費者トラブル」等について学ぶ。

➤ 金融経済教育では、上記に加え、「金融分野共通」、「資産形成」、「保険」についても学ぶ必要がある。
(消費者契約よりも学ぶ範囲が広い)

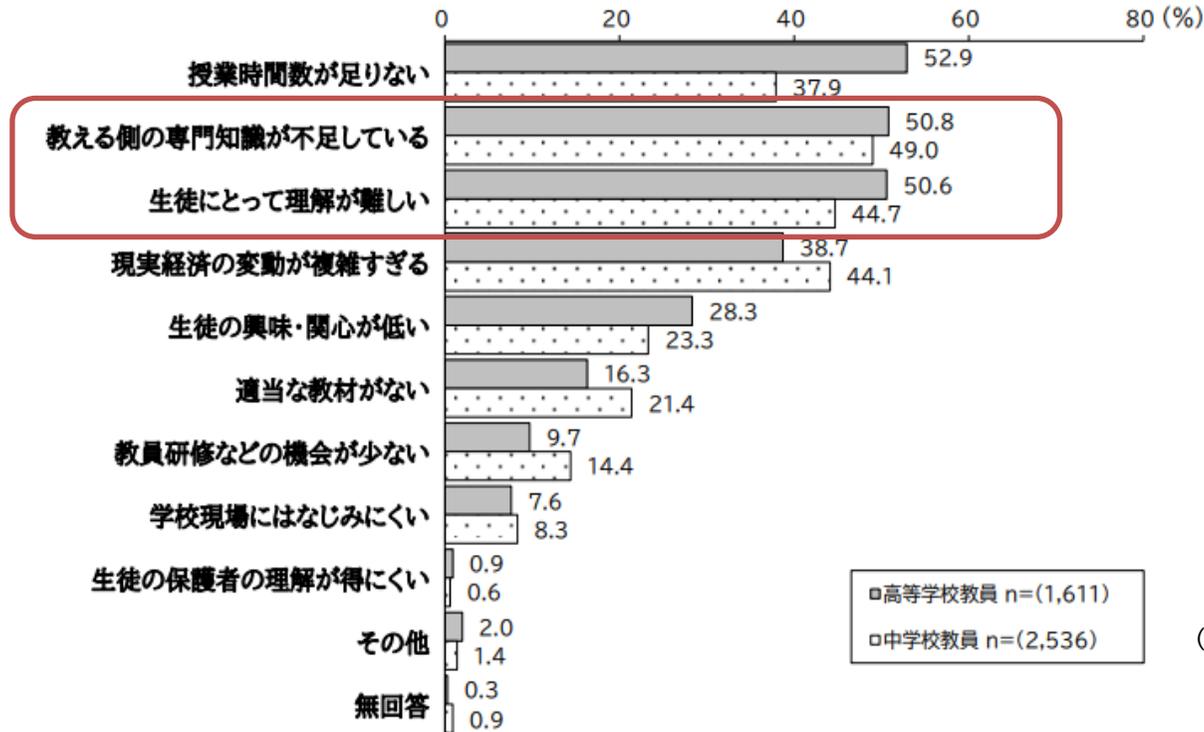
学校では特別な授業をするのではなく、日々の授業に「生きる力」として金融経済教育を取り入れる

- 金融経済教育は投資のテクニックやお得情報ではない
⇒ **儲けるだけが金融や経済の学習目的ではない**
お金を使わずに生活することはできない、生きる力そのもの
- 社会や倫理の教育が必要なこどものころからお金のことを考えさせるのは早いのでは？
⇒ **段階を踏んで学ぶ事を考えたら、早く取り掛かる方が緩やかな知識の学習、定着につながる**
- 学校で学習する必要があるのか？
⇒ **近年は学校、家庭、地域が一体となって推進していくことが求められる方向へ舞台を学校に、関係者は幅広く**



3 どのように学ぶか

○金融経済教育を授業で取り扱う際に、難しいと感じていること



(出典)金融経済教育を推進する研究会
「中学校(教員・生徒)における金融経済教育の実態調査報告書」(2022年10月)、「高等学校(教員・生徒)における金融経済教育の実態調査報告書」(2023年9月)より

J-FLECが提供しているさまざまな支援ツールを活用いただくことが可能

- 講師派遣(J-FLECが認定した講師による、無料の出張授業)
- 「わかりやすく金融リテラシーが学べる」教材の無償提供
- 教員の方向けのセミナー開催

- 「金融リテラシー・マップ」に沿って、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシーを習得いただけるよう、「標準講義資料」をもとに、J-FLECが認定した講師が授業を実施。講義料や派遣に係る交通費は無料(J-FLECが負担)。

年齢層	学べる主な内容(例)
小学生	<p>「おこづかいから学ぶお金の話」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おこづかいの使い方、貯め方、お金の流れ・トラブルの事例など ※ ドリル・ゲーム・クイズなども活用した参加型形式もあり
中学生・高校生	<p>「大人になる前に知っておきたいお金の話」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支管理の基本、お金の貯め方のコツ、資産形成と経済活動の関係性、クレジット・奨学金の仕組みと注意点、金融トラブルの防止など
大学生・若手社会人(10代～20代)	<p>「社会人として知っておきたいお金の話」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISAなど)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止など
中堅社会人(30代～40代)	<p>「将来に向けて知っておきたいお金の話」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家計の現状把握から外部知見(お金の専門家)の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止など
ベテラン社会人(50代以上)	<p>「リタイア前後に知っておきたいお金の話」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、贈与・相続・終活などの概要



※ 特別支援学校向け、教員向けにも研修・授業を実施します。

※ 講義資料は、J-FLEC以外の教育活動を行っている方々にも参考としていただくため、J-FLECホームページにて公開しています。

J-FLEC ① みんなは何を買う？ 6★

○おこづかい1000円で何を買うか、計画を立ててみよう。

ポイント：勉強のために必要なえんぴつと消しゴムと、水分補給をするためのお水はかならず買おう。



クイズなども交えながら、お金の使い方・トラブル事例などを学びます。

J-FLEC ③ クイズ（計算してみよう） DRAFT 30

クイズ

銀行にあずけると、毎年1%の利息がもらえます。1万円をあずけた時、来年はいくらになっているでしょう。

① 2万円 ② 1万1000円
③ 1万100円 ④ 1万10円



J-FLEC ⑤ 今日のまとめ DRAFT 44★

○今日勉強したことをまとめてみよう

- お金は計画的に使おう。
- あなたが使ったお金は、いろいろなところをめぐっています。
- お店の人はいろいろな工夫をしています。
- お金をためるとほしいものが買えたり、やりたいことができたようになります。
- 事故や病気、けがに気をつけて生活をしましょう。
- 「ゲームのお金のトラブル」に気をつけましょう。



標準講義資料(目次)

小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年
おこづかいから学ぶお金の話 1 お金ってなんだろう？ 2 おこづかいのつかいかた 3 お金をためてみよう	おこづかいから学ぶお金の話 1 お金の使い方を考えよう 2 お金の流れを知ろう 3 お金をためてみよう 4 身の回りの危険に気をつけよう 5 お金のトラブルに気をつけよう	

小学校高学年向けに、お金の使い方(いわゆるニーズとウォンツ)を解説。おこづかい帳の付け方からの振り返り方法、キャッシュレスに関する内容にも触れる。

目次

- 1 お金の使い方
を考えよう
- 2 お金の流れ
を知ろう
- 3 お金を
ためてみよう
- 4 身の回りの
危険に
気をつけよう
- 5 お金の
トラブルに
気をつけよう

J-FLEC ① ほしいものと、必要なもの

- お金を使うときは、買いたいものを、『ほしいもの』と『必要なもの』にわけて考えましょう。
- 『必要なもの』を先に買うようにしましょう。

ほしいもの



・おかしやおもちゃ、ゲーム など

必要なもの



・勉強するためのえんぴつや消しゴム
・水分補給をするためのお水 など

必要なものを買った後で、ほしいものの中でも特にほしいものを買うようにしましょう。

J-FLEC ① おこづかい帳から何が分かる？

- おこづかい帳をつけておくと、自分が何にお金を使ったかがすぐにわかるようになります。
- 後から見てみると、『もしかしたらいらなかったかも』『別のものに使えばよかった』という振り返りができるようになります。

日付	ことから	入ったお金	出たお金	残りのお金
1日	おこづかい	1000円		1000円
3日	おかしを買う		200円	800円
4日	えんぴつと消しゴムを買う		300円	500円
6日	お手伝いをする	500円		1000円
10日	ジュースを買う		200円	800円
11日	おかしを買う		200円	600円
15日	ゲームセンターで遊ぶ		300円	300円
20日	おかしを買う		200円	100円
	合計	1500円	1400円	100円

ちょっとおかし
を買いすぎたか
もしれない...



J-FLEC ① お金は現金だけ？

- お金は現金以外にも、『電子マネー』、『プリペイドカード』、『スマホの〇〇ペイ』などいろいろな形があります。

現金



現金以外のお金



形がちがっても、お金の価値は同じです。
現金以外のお金は、支払いが簡単にはできますが、
お金を使っている感覚がなく、
使いすぎてしまうことがあるので注意しましょう。

働くことの必要性に加え、消費税などの事例を挙げて税金(租税)についても解説。
クイズ形式で手を挙げてもらうなど、参加型の授業が可能。

J-FLEC ② 大人はどうやってお金をもらっているの？

14

○大人は、『人の役に立つこと』や『人がよるこぶこと』をしてお金をもらっています。

例えば・・・



お医者さんは病気の人をなおしてお金をもらっています



パン屋さんはおいしいパンを作ってお金をもらっています



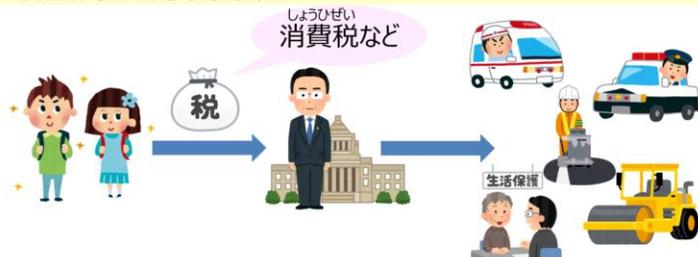
学校の先生はみんなに勉強を教えてお金をもらっています

大人はいろいろな仕事をしてお金をもらっています。

J-FLEC ② 税金について知ろう②

16

○警察官や救急隊員のお給料は、みんなから少しずつ集めた税金から支えられます。



税金は他にも、道路をなおしたり、生活にこまった人を助けたりと、いろいろなことに使われています。

J-FLEC ② クイズ (ケーキを買ったお金はどこへ?)

17

クイズ



あなたがケーキ屋さんでケーキを買いました。さて、そのお金はどこへ行くでしょう？

- ① ケーキ屋の店員さんにお給料をはらった
- ② ケーキの材料を買うために使った
- ③ 銀行にあずけた
- ④ 新しい機械を買うために使った



J-FLEC ② クイズの答え

18

答え

①～④全部

みんなが買い物をして使ったお金は、店員さんのお給料や、その商品を作るための材料、機械を買うために使ったり、銀行にあずけたりするなど、いろいろなところへめぐっていくよ。



身の回りのリスク、保険の仕組みを理解するとともに、お金に関するトラブル事例（お金の貸し借りや詐欺、オンラインゲームでの課金）などを解説。

J-FLEC ④ 生活の中のリスクを理解しよう

33



事故でケガをするかもしれない



病気で入院することになるかもしれない



自然災害で家がこわれてしまうかもしれない

事故や病気、自然災害が起こると、生活に大きなえいきょうがあります。健康や安全に気をつけて生活しましょう。

J-FLEC ④ 遠足や修学旅行と保険

36

みんなが遠足や修学旅行に行くときも、旅行中にケガや事故、病気になったときに備えて学校が保険に入っています。



J-FLEC ⑤ クイズ（お金の貸し借り）

38

クイズ



友達に500円貸してほしいとたのまれたよ。どうする？

- ① すぐに貸してあげる
- ② 事情を聞いてなっとくしたら貸してあげる
- ③ いつ返すかを聞いてから貸してあげる
- ④ 絶対に貸さない



J-FLEC ⑤ どうすればいい？（オンラインゲーム）

41

- まずは下の画像を見てみましょう。
- 何がいけなかったのか考えてみましょう。



ゲームで強いアイテムがほしい…
おうちの人のお金やカードを使ってアイテムをゲットしよう

いつの間に50万円も…
いったい何に使ったんだ！

成年年齢の引き下げから、生活設計の重要性、働き方の違いによる年収の差など基礎的な項目を幅広く解説。人生の様々な場面でかかるお金をイメージ。

J-FLEC ① 成年年齢の引き下げと金融リテラシー 6

○2022年4月から『**成年年齢が18歳に引き下げ**』られました。

18歳からできるようになること

注意点

保護者の同意がなくても契約可能

- 携帯電話を契約する
- 一人暮らしの部屋を借りる
- クレジットカードをつくる
- ローンを組む

(2022年3月まで)
⇒18歳は未成年なので、
契約を取り消すことができた

(2022年4月以降)
⇒18歳は成年なので、
契約を取り消せない

特に悪質商法や詐欺のような契約には注意！
正しい金融リテラシーを身につけることが重要です！

J-FLEC ② 雇用形態による年収の違い 10

雇用形態による年収の違い

年齢	正社員 (万円)	非正社員 (万円)
平均	520	280
~19	250	220
20~24	320	250
25~29	410	280
30~34	470	280
35~39	520	280
40~44	560	280
45~49	590	280
50~54	630	280
55~59	640	280
60~64	490	350
65~69	420	300
70~	380	280

推定年収 = 「きまって支給する現金給与額」×12ヶ月 + 「年間賞与その他特別給与額」として試算
(出所) 厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」

J-FLEC ② 生活設計 (ライフプランニング) 8

○「将来どんな人生を送りたいか」についての構想を描くことを『**生活設計 (ライフプランニング)**』といいます。

どんな仕事をしたい？

独身？ 結婚？

子どもは？

どこに住む？

何歳まで働く？

どんな暮らしをしたい？

いま 実現したいこと、ほしいものは？

J-FLEC ② 様々なライフイベント 11

○ライフイベントによって大きな支出を伴うことが多くなります。
○将来のライフイベントにかかる『**必要金額をイメージ**』しましょう。
○また、『**想定外の支出もあり得ることをイメージ**』しましょう。

ライフイベントに必要な金額 (費用) の例

結婚

挙式・披露宴
新婚旅行等
約300万円
~500万円

自動車

国産大家車
約150万円
~400万円
※数年程度で
乗り換えあり

教育費

幼稚園~
大学生まで
約500万円
~2,000万円
※公立か私立か
で差が大きい

自宅購入

郊外での
新築戸建て
約2,000万円
~5,000万円

老後の生活費

個人差が
非常に大きい
平均約24万円

望まない想定外の緊急支出

病気やケガ、
身内の不幸、
被害者への
賠償など

※無償化・減税・補助などの各種制度は考慮していません。

各自のスマホでシミュレーターを実施いただくことも可能。また、手取り収入の考え方や収入と支出のバランス、ニーズとウォンツについても解説。

J-FLEC ② (参考) シミュレーションの紹介 13

○シミュレーションを使って実際にライフプランを立ててみましょう。

**金融庁提供
ライフプランシミュレーター**

性別・学歴・雇用種別・年収・結婚・子ども・マイホーム購入等のライフイベントを入力することで、簡易的なシミュレーションを作成することができます。

ライフプランシミュレーター以外にも、家計管理や資産形成、借金のシミュレーターもあります。

金融庁 ライフプランシミュレーター 検索

J-FLEC ③ 大学生・社会人の家計管理 19

大学生の場合

収入
仕送り
アルバイト代
奨学金

社会人の場合

収入
給与
賞与(ボーナス)

支出

食費	飲食などに必要なお金
住居費	家賃など
水道光熱費	電気・水道・ガスの料金
通信費	電話やインターネットの料金
交通費	移動するのに必要なお金
被服費	洋服代など
教養娯楽費	学習や娯楽に使うお金
ローン返済	クレジットやローン・奨学金の返済
その他	冠婚葬祭費や医療費など

貯蓄
使わずに貯めておくお金

J-FLEC ③ 手取り収入を把握する 17

○給与明細から『手取り収入と可処分所得』を把握し、その範囲内に支出を収めることが基本です。

給与明細の例 金額は概算 千円未満四捨五入 (単位: 円)

支給	基本給	時間外手当	通勤手当	支給額計
	200,000	10,000	10,000	220,000
控除	雇用保険	健康保険	厚生年金保険	社会保険料計
	1,000	10,000	20,000	31,000
	所得税	住民税	介護保険	税額計
	4,000	7,000	介護保険は40歳から納付開始	11,000

社会保険の仕組みについては詳細後述

非消費支出 可処分所得

総支給額 - (社会保険料 + 税金) = **手取り収入**
220,000 - (31,000 + 11,000) = **178,000円**

J-FLEC ③ ニーズとウォンツ 20

○お金の使い方を考える時は『優先順位』をつけましょう。

1. **ニーズ**と**ウォンツ**を区別する。
 - 必要なもの・こと (Needs : ニーズ)
 - 欲しいもの・やりたいこと (Wants : ウォンツ)
2. お金を使うときには「**ニーズ (必要なもの)**」を優先しましょう
3. ウォンツの中でも優先順位をつけてお金を使いましょう。

資産形成の基礎的な知識から、運用に関しての金融商品の考え方、リスクとリターンの関係性を解説。「ローリスク・ハイリターンはない」ことも触れる。

J-FLEC ④ クイズ (資産形成の基本) 30★

クイズ

元本(元手となるお金)が確実に保証されて、大きい利益が期待でき、必要な時にすぐ換金できる金融商品が存在する。○か×か。

J-FLEC ④ 金融商品の3つの観点 35★

○金融商品は3つの観点(安全性・収益性・流動性)で整理できますが、『3つとも◎の金融商品はありません。』

	安全性 元本や利子の支払いが確かか	収益性 大きい収益が期待できるか	流動性 必要な時にすぐに換金できるか
預貯金	◎	△	◎
株式	△	◎	○
債券	○	○	△
投資信託	△~○	○~◎	○

J-FLEC ④ 資産形成と経済活動の関係性 32

○資産形成(預貯金・投資)は、『経済活動を支える』ことで、消費(商品の購入)と相まって『経済を循環』させています。

銀行: 預金, 貸出, 預金や投資したお金は経済活動に使われる

企業: 設備投資, 商品・サービスの提供, 株主への配当, 従業員への給与

家計: 投資, 社債・株式, 証券会社など

政府: 国債, 公共サービスの充実

間接金融の流れ: 銀行

直接金融の流れ: 家計, 証券会社など

サービス向上・給与アップなどを通じ、私たちの生活がより豊かで便利に

J-FLEC ④ リスクとリターンの関係 37★

○原則、リスク(運用成果の振れ幅)とリターン(運用成果)は比例関係なので、『ローリスク・ハイリターンの金融商品はありません。』

縦軸: リターン(運用成果) 大(高) / 小(低)

横軸: リスク(運用成果の振れ幅) 小(低) / 大(高)

製品位置:

- 預貯金: ローリスク、ローリターン
- 債券: ローリスク、ローリターン
- 投資信託: 中間位置
- 株式: ハイリスク、ハイリターン

注: ローリスク・ハイリターンは斜線で消された領域。満期まで保有すると元本または額面金額を受け取れる。

商品によってリスク・リターンはさまざま

※一般的なイメージ図であり、すべての金融商品があてはまるものではありません。

投資をする際の視点「長期・積立・分散」を解説。また複利効果・72の法則も解説。話題のNISAも概要を説明。SNSではなく信頼できるサイト(金融庁)などを紹介。

J-FLEC ④ 投資の主なリスクを抑えるために 43

○投資のリスク(運用成果の振れ幅)を軽減(コントロール)するには、『長期・積立・分散投資』の視点が重要です。

投資のリスク(運用成果の振れ幅)

リスクを抑える方法

長期投資 積立投資 分散投資

J-FLEC ④ クイズ(何から始めたらいい?) 54

クイズ

? 2024年1月から制度が新しくなった投資制度を知っていますか? 初めて「長期・積立・分散投資」を行う場合に適した制度です。

J-FLEC ④ 長期投資 - 複利効果、72の法則 47

○『長い期間投資を続けると複利効果が大きく』なります。
○『72の法則』でお金が2倍になる金利・期間が分かります。

複利効果

毎月1万円ずつ積み立て、利率3%で運用した場合

40年間積み立て元本480万円が約930万円に
20年間積み立て元本240万円が約330万円に

72の法則

『72 ÷ 利率 (%) ≒ お金が2倍になるために必要な期間』

利率3%で運用した場合
72 ÷ 3 ≒ 約24年

利率5%で運用した場合
72 ÷ 5 ≒ 約14.4年

※72の法則はあくまで目安です。税金は考慮していません。まとまった金額を運用し続けた場合の計算です。
<金融庁 はじめてみよう! NISA早わかりガイドブック>

J-FLEC ④ (参考) 金融庁 NISA特設ウェブサイト 57

NISAについて基本から学ぶことができます。

つみたてワニーサがナビゲートしてくれます。

詳しくは 金融庁 NISA 検索

社会保障制度の仕組みとともに、生活を支える社会保険と民間保険を解説。
ローン・クレジットの仕組みや、リボ払いの注意喚起も具体事例を挙げて実施。

J-FLEC ⑤ 社会保険制度とは 61

○日本の福祉社会は、『①自助（個々人の努力）、②共助（社会保険）、③公助（社会福祉等）の適切な組み合わせ』によって形づくられています。

	考え方	主な財源	具体的な行動や制度
基本	自助 自ら働き、自分の健康や生活は自分で守る	自分のお金	✓預貯金・投資 ✓民間保険への加入
社会保障制度 補完 （社会保険、公助）	共助 生活上の様々な困難に対して、社会連帯の考え方で支え合う	社会保険料	✓社会保険 年金、医療、介護、雇用、労災
	公助 特定の人々*の生活を公的に支援する	税金	✓社会福祉 障害者福祉、児童福祉等 ✓公的扶助 生活保護

* 障害者、ひとり親家庭など社会生活を営む上で様々なハンディキャップを負っている人や生活に困窮する人

J-FLEC ⑥ ローンとクレジット 71

○ローンとクレジット共に仕組みの違いはあるものの、どちらも『後から返済（支払い）が必要な借入れ（借金）』です。

ローンの仕組み

住宅・自動車などの高額な買い物で後から少しずつ返済。

クレジットの仕組み

クレジットカードでの利用が大半。

J-FLEC ⑤ 社会保険と民間保険 64

○リスクに備える手段として、民間保険（任意）もあります。
○『（強制加入の）社会保険の保障内容をよく理解したうえで、（必要に応じた）民間保険を検討』することが重要です。

リスクのイメージ	社会保険	民間保険
病気・ケガ	公的医療保険	公的医療保険適用外の支出+生活費等 差額ベッド代や自己負担の軽減、収入減少等への備えとして民間医療保険等を検討
長寿介護	公的年金（老齢年金） 公的介護保険	自身または家族が必要と考える金額 備えとして個人年金保険、民間介護保険等 を検討（必要に応じて資産形成も検討）
親など家計を支えていた方の死亡	公的年金（遺族年金）	自身または家族が必要と考える金額 子どもの教育費や遺族の生活費等への 備えとして死亡保険等を検討
交通事故 火事など	-	事故による損害を補償 備えとして自動車保険・自転車保険、火災保険 等を検討（自賠責保険は強制加入）

J-FLEC ⑥ リボルビング払い（リボ払い）とは 76

○リボ払いとは、カードの利用金額や利用回数にかかわらず、『あらかじめ設定した一定の金額を月々返済する方式』です。

利用金額

支払い残高

月々の返済

月々の返済はあらかじめ設定した一定額。
（左の例では毎月5千円）

支払い残高（+手数料）
がなくなるまで返済が続く。

リボ払いの手数料は、多くが
年利15%程度。

次のページで返済期間、総返済額を解説します

大学進学で利用者の多い奨学金の解説。また金融トラブルに関しても事例を挙げて解説するとともに、遭わないための考え方、遭ってしまった際の相談先を紹介。

J-FLEC ⑥ 奨学金とは

81★

- 奨学金とは、経済的な理由や家庭の事情で修学が困難な学生に『**学費を給付または貸与する制度**』です。

制度	特徴
給付型奨学金	<ul style="list-style-type: none"> • 原則、返済の必要はありません。 • 家計や学業成績の基準があります。
貸与型奨学金	<ul style="list-style-type: none"> • 返済の必要があります。 • 無利息と利息付があります。



※日本学生支援機構（JASSO）などが奨学金制度を運営しています。JASSOでは「返済」は「返還」と表記します。大学や企業などの奨学金もあります。

J-FLEC ⑦ 金融トラブルに対する鉄則

94★

- 金融トラブルを避けるための鉄則は3点です。

- ①『**おいしい話には気をつける**』。
「ローリスク・ハイリターン」はあり得ません。＝「おいしい話」は存在しません。
- ②向こうから近寄ってきても、『**怪しいと思ったらはっきり断る**』。
「今だけ」「あなただけ」には要注意。遠慮せずに「いりません」と断りましょう。
- ③万が一『**トラブルに遭ってしまっても、決して諦めない**』。
ひとりで悩まず、早めに適切な相手に相談することで解決策が見えてきます。

J-FLEC ⑦ 闇バイトに注意①

92★

- 闇バイトは、『**アルバイトではなく犯罪**』です。
- 『**簡単にお金が稼げるというおいしい話はない**』ことを理解し、巻き込まれそうになった時は、すぐに警察などに相談しましょう。



J-FLEC ⑦ トラブルにあった時の相談先

95★

- 金融トラブルに限らず、消費者トラブルで困った際は、『**独りで悩まずに相談**』しましょう。

契約や商品について困ったときは ⇒ 消費者ホットライン (全国共通)	188 (いやや)  消費者庁 消費者ホットライン188 イメージキャラクター イヤヤン
警察に相談したいときは ⇒ 警察相談専用電話 (全国共通)	#9110
金融サービスについて困ったときは ⇒ 金融庁 金融サービス利用者相談室	0570-016811

- 社会人や経営者、教員の方等を対象としたイベント・セミナーを無料で開催。
- 忙しくて時間がない方、遠隔地にお住まいの方にもご参加いただけるよう、イベント・セミナー会場だけでなく、オンラインによる参加やオンデマンド動画による視聴も可能。

【イベント・セミナー例】

対象層	主な内容等
社会人	<p>「社会人として身に付けておきたいお金の話」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支管理・資産形成の基本や利用できる制度(NISA等)、社会保険と民間保険など
事業会社 (経営者)	<p>「職域における金融経済教育のメリット」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保の観点からの金融経済教育の重要性、企業における取組み事例の紹介など
教員向け	<p>「基礎から知りたいお金の話」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生自身に知っていただきたい、家計管理・資産形成などの基本とポイント <p>「生徒に伝えたいお金の話」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業でお金について教える際のポイント、授業で使えるJ-FLEC教材の体験など
親子向け	<p>「お金の使い方・貯め方体験プログラム」</p> <p>「会社の仕組みやお金の流れを学習できるワークショップ」</p>



(1) 金融経済教育研究校制度

- 全国各地で、金融経済教育に関する研究活動や実践に積極的に取り組む学校を指定し、教育研究費の助成や研究・実践計画作成に当たってのアドバイスの提供など、さまざまなかたちで支援。

※ 同様の活動を行う学校横断的な教員グループについても、本制度に準じた指定・支援を行う。

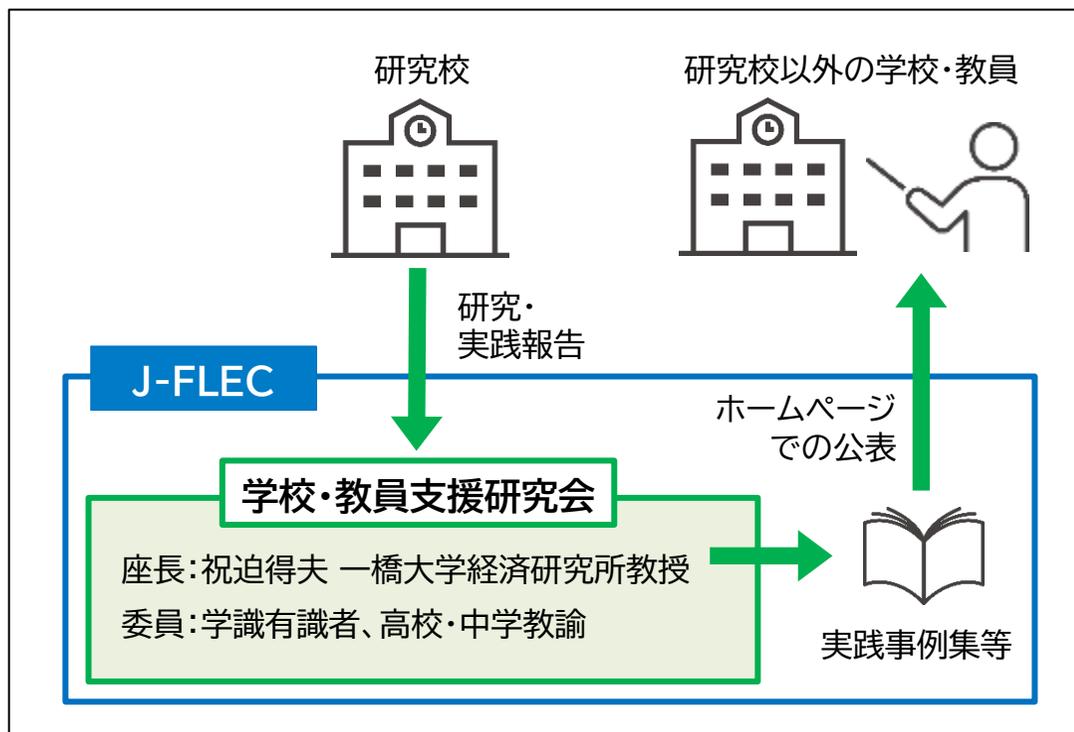
- 研究・実践の報告は、研究校以外の学校や教員の方々にも広く活用いただけるよう、J-FLECのホームページで公表予定。

(2) 学校・教員支援研究会

- J-FLEC内に「学校・教育支援研究会」を設置し、以下のテーマ等を通じて、学校教育や教員の支援のあり方について検討。

- ◆ 学習指導案の制作
- ◆ 上記研究校の研究・実践報告等をもとにした実践事例集の作成、等

- 成果物はJ-FLECのホームページで公表し、金融経済教育に取り組む学校や教員の方々にも広く活用いただけるようにする。



出張授業をご希望の方は、こちらの申込ページまで



The screenshot shows the J-FLEC website interface. At the top, there is a navigation bar with the J-FLEC logo and several menu items: "J-FLECについて", "一般の方へ", "教育関係の方へ", "事業者の方へ", "J-FLEC認定アドバイザー", and "発表・広報". Below the navigation bar is a large banner advertisement. The banner features the J-FLEC logo on the left and a smiling woman in a white shirt holding a pen on the right. The text in the banner reads: "たった5問であなたの知識をチェック!" (Check your knowledge in just 5 questions!), "お金の知識力" (Financial knowledge), "無料診断" (Free diagnosis), and "今すぐこちら" (Click here now). A QR code is positioned to the right of the banner. Below the QR code, the URL "https://www.j-flec.go.jp/" is displayed.

SNSでも情報発信をしています



@J_FLEC



@j-flec

- **会場後方に標準講義資料、J-FLEC提供教材の現物を展示しています。
講義後ご覧ください。**

The page features several stylized blue circular icons scattered around the text. Each icon contains a unique geometric pattern of lines and squares. One icon in the top left shows a square and a line forming a partial circle. Another in the top right shows a square and a line forming a partial circle. A third in the bottom right shows a square and a line forming a partial circle. A fourth in the bottom left shows a square and a line forming a partial circle. A fifth in the middle left shows a square and a line forming a partial circle. A sixth in the middle right shows a square and a line forming a partial circle. A seventh in the bottom center shows a square and a line forming a partial circle. A eighth in the top center shows a square and a line forming a partial circle. A ninth in the bottom center shows a square and a line forming a partial circle. A tenth in the top center shows a square and a line forming a partial circle.

4 (ご参考)

**J-FLEC提供教材
会場後方に現物も展示**

- こどもたちがお金について楽しく学べる、小学生向けコンテンツ「うんこお金ドリル」を提供
- 日々のお金の使い方などをテーマにした「生活編」と、お金が社会の中でどう回っているのかをテーマにした「経済編」があります。

- 対象: 小学校
- 学習に必要な時間(目安): 1~2時間
- 教材: 全20ページで、各教材データ(PDF)はWEBで取得可能です。

【生活編の内容】

- 1 買い物をするには、お金がいるのじゃ!
- 2 人が喜ぶことをするのじゃ!
- 3 お金は計画的に使うのじゃ!
- 4 お金の貸し借りはいかんぞい!
- 5 困ったときは相談じゃ!
- 6 お金を増やす方法があるぞい!
- 7 がんばる人はかっこいいのじゃ!



【経済編の内容】

- 1 商売をするには、いろんな準備が必要じゃ!
- 2 お金にはいろんな種類があるのじゃ!
- 3 お金はいろんなところをめぐるのじゃ!
- 4 お客さんがほしくなる方法を考えるのじゃ!
- 5 お金を手に入れる方法はいろいろあるぞい!
- 6 「絶対にもうかる!」という話には気をつけるのじゃ!
- 7 人の気持ちを考えて行動すれば、自然と人は喜んでくれるのじゃ!



○ おかしの株式会社経営の体験を通して、株式会社の仕組みやお金の流れ(資金調達)について楽しみながら学べる教材です。

- 対象:小学校高学年～中学校
- 学習に必要な時間(目安):90～100分
- 使用する教材:児童用ワークブック、パッケージ、パッケージ用シール、株券シート、お金券、DVD教材(複数回申込の場合は初回時に発送したDVDをご使用ください)
- その他ご準備いただくもの:カラーペン、DVDが再生可能な機器、プロジェクター等

児童用ワークブック

(1人1冊)



パッケージ

(2種類・班でA、Bどちらかを選択)



箱タイプ:A



箱タイプ:B

パッケージ用シール

(1班1シート)



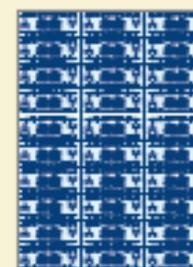
株券シート

(1班1シート)



お金券

(切り離して1人2枚配布)



DVD教材

(1点)



● 学習の基本的な流れ

\ 学習の流れ /

1

会社のしくみ
を知ろう
(18分)

- 01 私たちの身近にある会社
- 02 会社はどんなことをしているのかな
- 03 会社はどんなことにお金を使っているのかな
- 04 会社はどうやってお金を集めるのかな
- 05 株式会社のしくみを知ろう



ワークブックと
楽しいアニメー
ションで会社の
しくみについて
学びます。

2

新商品を売り出そう
【ワーク01】
(39分)

新商品のおかしを開発しよう

班に分かれておかしの会社を運営します。
話し合って会社の新商品のおかしを考え、
パッケージをデザインします。



班で協力して、
魅力的な新商品
のおかしを考え
ます。



3

新商品を売り出そう
【ワーク02】
(30分)

株式を出して、 新商品を作るお金を集めよう

新商品のおかしをつくるための機械や材
料を買うお金を株式で集めるため、新商
品の魅力を伝えるプレゼンテーションを
して、クラスメイトから投資を募ります。



応援したい会社に
「お金券」を渡し、「株
券」をもらいます。
投資が終わったら各
班で集まった金額を
計算します。

4

振り返り
(3分)

今日学んだことをまとめてみよう

今日の授業で学んだことをアニメーション
を見ながら振り返ります。

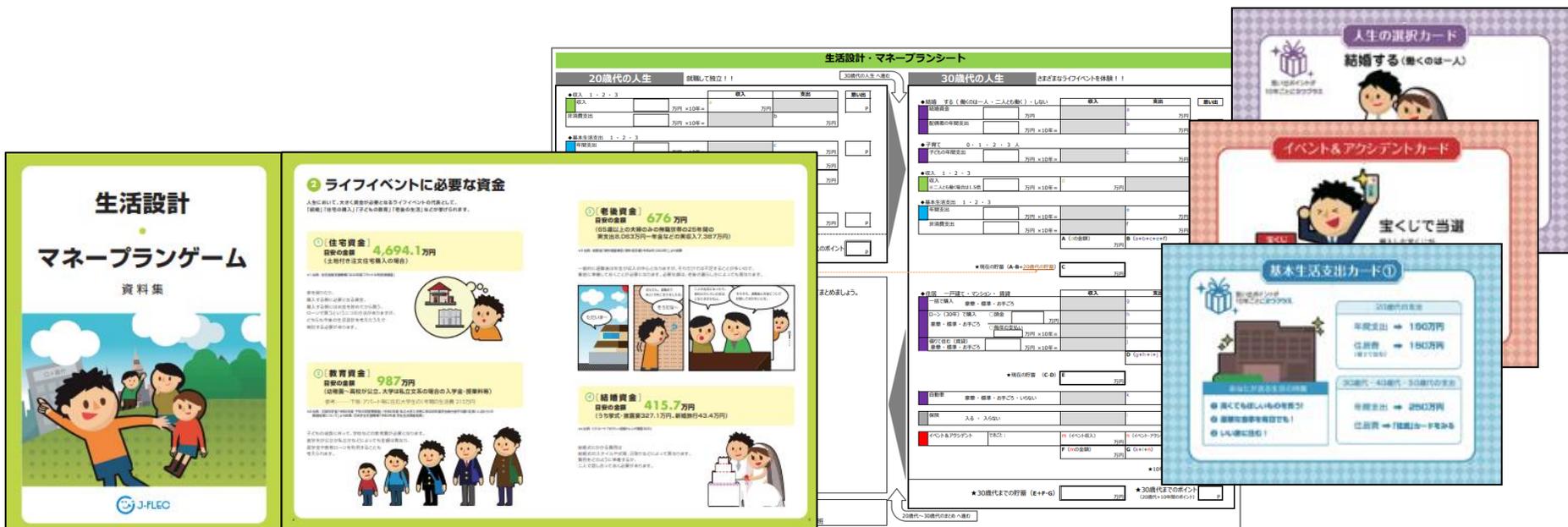


● 利用者の声

- 自分たちで実際に株式会社での商品開発を体験することができたので、金融や株式会社のことをより身近に感じる事ができた。
- 株式とは、世の中を支えていくために大切なものだった。
- 自分の企画をプレゼンするという経験は今後も役立つものだった。

- 「人生には様々な選択がある」ことに気付き、「計画性を持って生活をしていく必要性がある」ことを体感してもらう、アクティブラーニング型の教材です。
- 4～5人の班を作って、カードを引いたり、カードを選んだりしながら、将来の生活をシミュレートすることができます。

- 対象：中学生～高校生
- 学習に必要な時間(目安)：20～60歳まで体験するフルバージョンで100分程度
20～30歳代のみ体験する短縮版で50分程度
- 教材：資料集、カード、ワークシート、指導者用資料
J-FLECホームページから申込が可能(サンプルデータはWEBでご覧いただけます)



●活動評価のポイント

- 本教材の体験を通じて、お金の知識を身につけることができたか。
 - －収入(額面と手取り収入)、
 - 支出(消費支出と非消費支出)、
 - 人生の三大資金、
 - 借入(特長と注意点)、働き方 など

- 本教材の体験を通じて、どのようなことに気づくことができ、今後役立てられるか。
 - －家計管理、生活設計の大切さ
 - －ライフイベントとそれに向けた準備
 - －個人の消費生活と経済のかかわり など



- 仮想所持金(1,000万円)をもとに、東京証券取引所に上場している銘柄について、どの銘柄を売買するのか議論しながら、実際の株価(終値)に基づいて株式の模擬売買を行うシミュレーション教材です。
- 株式の模擬売買を通じて、株価変動の背景となっている現実の経済・社会の動きに生徒たちの目を向けさせることを目的としています。

- 対象:中学生～大学生
- 学習に必要な時間(目安):1か月以上が望ましい
(参加時間が短いと株価の動きと社会の動きの関係が分かりにくくなります)
- 教材:ガイドブック
教材データ(PDF)はWEBで取得可能ですが、ご利用にあたっては申込が必要です。

【ガイドブック(中学生・高校生向け)】

【シミュレーション(株式学習ゲームホームページ)】



- 生徒が将来のライフプランを描き、ローンやクレジットなどの金融商品を正しく適切に利用できるようにわかりやすく解説した教材です。
- 授業計画や授業方法に合わせて使える「講義型教材」と、ドラマ仕立てで多重債務について学べる「動画型教材」があります。

- 対象：高校生
- 学習に必要な時間(目安): テーマ・教材による
- 教材: 各教材データ(PDFなど)はWEBで取得可能です。

<講義型教材>

生徒用テキストブック、資料集、授業用スライド、ワーク集

<動画型教材>

多重債務に陥る怖さと対策、クレジットとローンの仕組みをドラマ仕立て(シナリオ展開は4パターン)で解説した映像



1 生活設計と家計管理

p03~p18

- | | |
|------------------------|--------------------|
| P 03 ライフプランはあなたの人生の設計図 | P 11 貯蓄の役割 |
| P 05 資金計画を立てる | P 13 運用の役割 |
| P 07 家計管理の必要性とは? | P 15 金融商品の選び方 |
| P 09 税金と社会保険料 | P 17 ライフプランの中での借入れ |

2 買い物と支払い

p19~p28

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| P 19 キャッシュレスでの買い物と支払い | P 25 ポイントサービスの仕組み |
| P 20 買い物の場面を見てみよう | P 27 キャッシュレスでの買い物の注意点 |
| P 21 いろいろな決済方法 | |

3 お金を借りる

p29~p42

- | | |
|---------------------|---------------------|
| P 29 ローンとクレジット | P 36 金利とは? |
| P 31 クレジットカードの仕組み | P 37 ローンの種類と金利 |
| P 32 クレジットカードの支払い方法 | P 38 利息の計算方法 |
| P 33 リボ払いの仕組み | P 39 返済方法の選択 |
| P 34 クレジットの利用限度額 | P 41 自動車の購入方法 |
| P 35 ローンの種類 | P 42 ローンの手続きはどんな会社? |

4 自立した消費者になるために

p43~p48

- | | |
|----------------|--------------------|
| P 43 消費者の保護と責任 | P 47 自立した消費者になるために |
| P 45 契約の意味 | |

5 多重債務と消費者被害

p49~p54

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| P 49 多重債務とは | P 53 もしものときの対応策 |
| P 51 消費者被害に巻き込まれないために | |

特別編 金融の役割

p55~p56

- 過去にタイムトラベルして、「あの時投資をしていたらどうなっていたか」を体験する資産形成体験シミュレーション教材です。
- ポートフォリオ(金融商品の組合せ)を考え、最大20年間の積立運用を行います。
- 資産形成を疑似体験することで、社会や経済の動きと金融商品の価格変動の関係を体感するとともに、金融商品のリスクとリターンの関係や資産形成における長期・積立・分散投資の効果について理解を深めることができます。

- 対象:中学生～大学生
- 学習に必要な時間(目安):50～60分程度
- 教材:資産運用記録表・ワークシート、使い方マニュアル(PDF)はWEBで取得可能です。また、振り返り動画もWEBで視聴可能です。



【金融商品の説明】

金融商品は5つから選択します！

このシミュレーターでは、5つの金融商品を用意しました。預金、国内と外国の債券、国内と外国の株式です。それらの特徴を確認して、どの金融商品にどれだけ投資するか考えましょう。

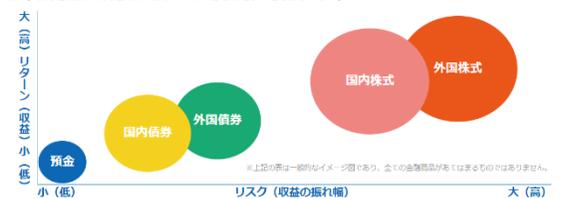
今回、国内債券は複数の国内の債券を、外国債券は複数の外国の債券を、国内株式は複数の国内の株式を、外国株式は複数の外国の株式を、それぞれ組み合わせて、投資することになります。

預金	国内債券	外国債券	国内株式	外国株式
日本国内の銀行などの金融機関に預金を預けます。定期的に利息を受け取れます。安全性と流動性(現金取戻し)は高いですが、収益性はあまり期待できません。 ※外貨預金は対象外です。	日本の国(政府)や地方公共団体、金融などが発行している債券に投資します。通常、預金よりは利率が高いですが、収益性はそれほど高くはありません。	日本を除く各国の国(政府)や地方公共団体、外国の会社などが発行している債券に投資します。	日本の株式会社が資金を稼ぐために発行している株式に投資します。株を買ったときより値上がりして、高く売れると「利益」が得られます。	日本を除く各国の株式会社が発行している株式に投資します。
詳しく見る >	詳しく見る >	詳しく見る >	詳しく見る >	詳しく見る >

【リスクとリターンの関係について説明】

リスクとリターンの関係に気をつけよう！

資産運用の組み合わせを考える上で、リスクとリターンの関係について知っておきましょう。下のグラフの5つの金融商品の内を見ると、リターン(収益)が大きいと、リスク(収益の振れ幅)も大きく、リスクが小さいとリターンも小さいことがわかります。債券と株式、国内と外国ではリスクの大きさが違ってくることもわかります。



【シミュレーション(運用成績の推移例)】

結果発表！運用成績の推移



- 本資料における記載事項は、本資料の日付時点のものであり、今後変更となる可能性があります。
- 本資料の無断転用・転載・使用を禁じます。